



大分県議会議員 2024年冬号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報



教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司
連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

物価高対策と国土強靭化に注力 原田、一般質問に登壇 ～大分県議会第4回定例会～

皆様方には、健やかに新年を迎えた
ことと存じます。本年がよい年になります
ように御祈念いたします。

さて、大分県議会2023年第4回定例会が11
月27日(月)から12月13日(水)にかけて開催され
ました。

開会日に提案されたのは、県職員や知事・
県議の給与や報酬などを引き上げる条例の一
部改正案、ホーバークラフトのターミナルを設置する条例制定案、パトカーとの衝
突事故で重い障害を負った男性への和解案などでした。

また、国の補正予算が11月29日(水)に成立
したことを受け、12月4日(月)には総額358
億円3,650万円（累計7,796億7,201万円）の一
般会計補正予算案（12月補正）が提案され
ました。

2024年は飛躍の年に! ～様々なイベントが目白押し～

さて、本年は別府市や大分県内で様々なイベン
トが予定されています。

まず、「別府市制100周年～100年分の『あ
りがとう』が明日への源泉～」。4月に記念式典
が予定される他、様々な催しが企画されています。



別府市では、このまちの大切な
価値を見つめ直し、守り、磨きを
かける活動と位置づけています。
地方創生の大きなきっかけとしたいですね。

また、4～6月には「福岡・大分デスティネー
ションキャンペーン(DC)～至福の旅！大吉の

内容は、物価高対策に計23億4千万円。
LPガス利用者に対し1契約当たり1,500円を
助成。燃料の高騰で経営が厳しい乗合バス
やタクシーへ燃料費の一部を補助する事業
を来年4月末まで延長します。

また、飼料の値上がりや子牛価格の下落
に苦しむ牛の繁殖農家への緊急支援。人材
確保が厳しい介護職員や看護補助者の賃金
引き上げ経費として月額6千円を助成。

補正の大半を占める国土強靭化関連（285
億9,360万円）では、緊急輸送道路の整備や
砂防ダムの建設、ため池の耐震化などを進
めます。

最終日に全て原案通り可決されました。

12月5日(火)、原田は一般質問に登壇しま
した。【2・3面に掲載していますので御覧ください】

旅！福岡・大分～」が行われます。

DCは、開催県とJRグループが共同で開催する
大型観光キャンペーンで、2015年に大分県で開
催された際には133億円の経済効果があったと報
告されています。

さらに、11月には、「第
43回全国豊かな海づくり
大会～おんせん県おおい
た大会～」が開催。大分



市グランシアタで記念式典、別府港第4埠頭で海
上歓迎・放流行事が行われ、県内各所で海産物の
販売も展開されるそうです。昨年11月4日(土)には
1年前プレイベントが別府港で開催され、
私もマダイの稚魚を放流しました。

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

